

# 平成26年度会議の進め方と協議テーマについて

平成26年5月  
広島県  
経営企画チーム



# I これまでの主な取組

## 2010(H22)年 ~仕込みと基盤づくり

- ✓ 広島県経済財政会議の設置
- ✓ ひろしま未来チャレンジビジョンの策定
- ✓ H23県政運営の基本方針の策定
- ✓ 中期財政健全化計画(H23~27), 行政経営刷新計画(H23~27)の策定

## 2011(H23)年 ~《人づくり》と《経済成長》への重点化

- ✓ 人材マネジメントの実施(目標管理とそれに連動した評価制度の導入)
- ✓ PDCAの仕組みの構築
- ✓ 県政運営の基本方針2012の策定

## 2012(H24)年 ~4つの政策分野の好循環

- ✓ 執行モニタリングの本格運用
- ✓ 県政運営の基本方針2013の策定

## 2013(H25)年 ~イノベーション創出に向けた4つの視点

- ✓ 経営資源マネジメントの実施
- ✓ 県政運営の基本方針2014の策定

## 2014(H26)年 ~イノベーションが生まれる最適環境の創出

**広島県の強みや基盤を活かす**

## □ 2014(H26)年

～「県民主体」で成果を「実感」できる県政運営～

「県政運営の基本方針2014」のポイント

<p>➤ 政策の 基本方向</p>	<p>◆ <b>イノベーションが生まれる最適環境を創る</b> ～「事業環境」と「人材」でイノベーションの土壌を創る～</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ ダイナミックな事業環境</li><li>■ 多様な人材集積, 社会で活躍する人材を育てる学校教育</li><li>■ ファミリー・フレンドリーな魅力創造</li></ul> <p>◆ <b>広島が強みや基盤を活かす</b> ～住んでいる人にとっても, 訪れる人にとっても 魅力ある豊かな広島県を実現～</p>
<p>➤ 予算</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 重点施策への集中的な取組</li><li>・ 財政健全化に向けた取組</li><li>・ 経営資源の最適配分</li></ul>
<p>➤ 組織</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本一強い県庁をつくる</li><li>・ 市町をはじめとする多様な主体との連携・協働</li><li>・ 新たな広域自治体の形成の推進</li></ul>

## 《重点施策の体系》

分野 イノベーション に必要な環境要素		新たな 経済成長	人づくり	安心な 暮らしづくり	豊かな 地域づくり
<b>事業環境</b> ■ ダイナミックな事業環境		<ul style="list-style-type: none"> <li>● イノベーション・エコシステムの共通基盤の強化</li> <li>● 産業競争力の強化</li> <li>● 世界と直結するビジネス支援</li> <li>● 産業として自立できる農林水産業の推進</li> </ul>			
<b>人材</b> ■ 多様な人材の集積  ■ 社会で活躍する人材を育てる学校教育			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たな価値を生み出し、産業を支える人材の確保</li> <li>● 若者の定着・就業の徹底支援</li> <li>● 女性の働きやすさ日本一への挑戦（就業支援）</li> <li>● 社会で活躍する人材を育てる学校教育</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な人材が集まる魅力ある地域環境の創出（都市圏の魅力向上）</li> </ul>
<b>人材集積を後押しする環境</b> ■ ファミリー・フレンドリーな魅力創造			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性の働きやすさ日本一への挑戦（子育て支援）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な人材が集まる魅力ある地域環境の創出（広島らしい生活スタイル）</li> </ul>
<b>広島 の強みや 基盤を 活かす</b>	■ 広島 の強みを 活かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光地ひろしま・瀬戸内海の道構想の推進</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際平和拠点ひろしまの形成</li> <li>● 「ひろしま」ブランド価値向上の推進</li> </ul>
	■ 生活 基盤を 強化する			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少子化危機突破対策</li> <li>● 信頼される県内医療体制の構築</li> <li>● がん対策日本一に向けた取組の強化</li> <li>● 防災・インフラ老朽化対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中山間地域の地域力強化</li> </ul>

## Ⅱ 今年度の経済財政会議の進め方

- これまで議論してきた政策の全体像(4つの政策分野とイノベーションの創出に向けた重要な環境要素)を基本に置き, 中長期のあるべき姿をも視野に入れて, 現在, 県が抱えている課題や政策を実現するための方策について, テーマを絞って集中的な議論を行う。
- 議論に当たっては, 各委員の専門的・多角的な知見を最大限引き出せるよう, テーマごとに委員に御担当いただき, 個別ディスカッション(懇談会)方式で実施する。
  - 担当委員, (テーマに対応した専門家), 知事, 副知事, 事業局職員等が参加委員から知事へ提案を行っていただいた後, フリーディスカッション
  - 事前に, テーマに関係する局と担当委員との意見交換を行う。  
また, 必要に応じて現地調査等を実施

# Ⅲ テーマの内容と担当委員

## ① イノベーション創出に向けた環境整備 ～ 戸堂委員 ～

商工

### ■ 目指す姿

大学や企業，金融機関，行政などが生態系システムのように，相互につながり，関与しながら持続的にイノベーションを生み出す事業環境（イノベーション・エコシステム）の構築

### ■ 現状

事業化の「場」，人材，資金供給が不足

### ■ 今年度の取組等

産業界と大学の資金循環に向けた新たな仕組みの構築や，異分野の融合によるアイデア創出の場づくりなどを行う。

（課題）

・企業が大学に恒常的に資金供給するためのインセンティブの欠如（税制優遇，大学経営委員会への参加等）

・多様な人材を集め，「つながり」を生み出し，アイデアを事業化していく仕掛けの不足

### ■ 論 点

- 産学間で資金と成果を循環させるための具体的な手法と仕組みの構築
- イノベーションを実現するための交流の場づくり（イノベーション・ハブの運営形態等）

## (Ⅲ テーマの内容と担当委員)

### ② 少子化対策・子育て支援・女性の活躍促進(ファミリー・フレンドリー)

～ 宇野委員・吉田委員 ～

#### ■ 目指す姿

家族で住み，子育てする場所として選ばれる広島県の実現

健康・教育

#### ■ 現 状

- 出産，子育て支援の機運が未成熟，女性の活躍促進対策が不十分
- 家族で広島に移り住み，定住し続けてもらうための環境整備が必要

#### ■ 今年度の取組等

- 男女が共に仕事も子育ても充実できる企業の取組を経済・労働団体とも協働して効果的に進めるとともに，出会い・結婚への支援を図っている。
- 児童生徒の学力向上に加え，豊かな人間性や創造性を育成するなど，「知・徳・体」の基礎・基本の定着に取り組むとともに，今後10年のグローバル化の進展を見据え，新たな教育プログラムの開発や，安価かつ良質な留学プログラムの開発に取り組む。

(課題)

- ・未婚化・晩婚化などへの取組の不足
- ・早期の妊娠・出産行動に向けた有効な取組の不足
- ・社会の子育て応援の不足
- ・子育て世代の多様なニーズに対応した受け皿の不足
- ・企業と女性従業員のニーズのギャップ
- ・女性の就業継続について保守的な意識の存在

#### ■ 論 点

- 県レベルで実施する有効な少子化対策
- 子育て世代の移住・定住の促進にもつながら，多様なニーズに応える教育環境の整備
- M字カーブの縮小に寄与する事業(働く女性の応援)



## (Ⅲ テーマの内容と担当委員)

### ③ 人口減少社会における持続可能な地域づくり

～ 神原委員・蔵田委員・三浦委員 ～

#### ■ 目指す姿

居住地として選ばれる広島県の実現

地域・商工・土木

#### ■ 現 状

広島県人口は社会減傾向で推移

#### ■ 今年度の取組等

都市と自然の近接性を有する広島県の特性を活かして人を呼び込む取組や仕組みづくりを効果的に進めるとともに、人材集積の核となる都市圏や各地域の魅力向上を図っていく。

(課題)

- ・移住先として広島を選択を促すための効果的な取組やアピールの不足
- ・定住希望者に対する恒常的な相談対応，地域とのマッチング，定住希望者獲得等の機能の不足
- ・都市圏をはじめとした各地域の魅力向上など，有効な人口流出防止策の不足
- ・国内人口の減少に伴う旅行需要の減少

#### ■ 論 点

- 首都圏からの定住促進策をはじめとした転出超過対策

# IV 協議スケジュール

## ■ 平成26年度のスケジュール(案)

区分	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
経済財政会議	<b>第1回</b> ・これまでの取組状況について ・今年度のテーマと検討スケジュール					<b>第2回</b> ・テーマ別議論の総括 ・経営資源(人役・財源)	<b>第3回</b> ・基本方針(素案)	
テーマ別懇談		テーマ別に委員1~3名が出席 委員からの提案の後、 事業局を交えてディスカッション	<b>《テーマ別懇談》</b> ① ② ③					
施策マネジメント					H26中間評価			
				H25主要成果		H27事業協議		予算編成

## 〔参考〕 平成25年度のスケジュール

区分	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経済財政会議	<b>第1回</b> (5/31) <b>《テーマ別議論》</b> ①女性の活躍	<b>第2回</b> (6/20) ②地域環境 ③健康医療	<b>第3回</b> (7/16) ④事業環境 ⑤グローバル人材 ⑥大学	<b>第4回</b> (8/19) ⑦中高一貫 ・予算編成方針 ・行政経営方針				<b>第5回</b> (11/29) ・基本方針(素案)	
施策マネジメント					H25中間評価				
				H24主要成果		H26事業協議		予算編成	